

別紙2 「プロポーザル方式における審査の項目」

	評価項目	評価の視点	指標	配点	
組織評価	経営規模	経営規模等の妥当性	資本金、売上高 等		
	業務遂行力	業務遂行体制の妥当性	企業の技術者数 等		
	業務執行技術力	当該業務を遂行するために必要な知識・経験	同種・類似業務の実績等		
	実施体制	適切な業務を提供できる実施体制か	担当者数、担当者の配置、構成 等		
担当者評価	担当者評価	担当者の経験や実績等	経験年数、実務実績の有無 等		
提案内容評価	提案事項を実施するにあたっての取組方針	業務の理解度はあるか	目的・条件・内容の理解度が高く、簡潔に記載されているか		
	業務の実施手続き	業務実施手続きを示す業務フロー又は工程表等は妥当か	実施フロー又は工程表等の的確性		
	現況・課題への理解度	地域の現況・特有の課題への理解は十分か	地域特性等余条件の理解度		
	提案内容の的確性	提案内容は業務要求水準を充足しているか	※「デジタル田園都市国家構想総合戦略」等を勘案した提案内容であるか		
		検討項目の内容は具体的で量も妥当か	主要検討事項の把握度及び具体性		
		独創的かつ実現性があるか	独創性・実現性		
		実施手法は的確であるか	業務手法の妥当性		
	資料調達力	資料等が分かりやすいか、誤字脱字が少ないか	資料の正確性		
	説得力（ヒアリング）	説明に説得力があるか			
	取組み姿勢（ヒアリング）	積極的に取組む意欲を感じられるか	業務への意欲、積極性		

成 果 物 の 評 価	他自治体へ納品した成果物（冊子、概要版のデータ等）	内容について、イメージを描き易い構成であるか	親しみやすさ	
		中高生が理解できる内容であるか	分かりやすさ	
実 績 評 価	他自治体との契約履行実績	他の地方公共団体との契約履行実績があるか		
		上記団体との複数回の契約履行実績があるか		
合 計				

○評価の方法

- 1 評価は、審査委員会で行う。審査方法は、企画提案書等の書類、プレゼンテーションについて予め定めた評価項目及び評価点に基づいて評価を行う。
- 2 各審査委員の採点及び見積額加算点の合計点が最も高い者を受託候補者とする。なお、各審査委員の採点の合計点で最低基準点を設定し、それ以上の点数を得た提案者の中から受託候補者を決定する。
- 3 点数が同点となった場合は、次の順によって決定する。
 - (1) 評価項目（提案内容の的確性）の指標【「デジタル田園都市国家構想総合戦略」等を勘案した提案内容であるか】の点数が大なる者
 - (2) 評価項目【取り組み姿勢（ヒアリング）】と評価項目【他自治体へ納品した成果物（冊子、概要版のデータ等）】の点数の合計が大なる者
 - (3) 見積金額が低い者
- 4 最低基準点以上の者がいなかった場合は、受託候補者の決定は行わない。

※ 見積額加算点の積算方法

見積額加算点の換算にあたっては、少数第3位以下を切り捨て、少数第2位止めとする。

$$\text{見積額加算点} = 100 - (\text{消費税等額を除いた見積額} / \text{予算額}) \times 100$$